

地区別市政懇談会 当日質疑応答用紙一覧 鶴巻地区
 平成26年11月11日(火) 鶴巻公民館
 地区別に事前にあげられたテーマについて

	質問事項	当日の回答、及び補足等	担当課
1	<p>平成23年12月に公営源泉の活用について報告書を市に提出しましたが、その後あまり進展が見られません、今年度中に駅北口広場に手湯を設置することは伺っていますが、今後の足湯、配湯管、周辺のモニュメント等の整備時期や駅北口を合わせた温泉街の整備について、状況を説明してください。</p>	<p>手湯については、鶴巻温泉駅北口広場に平成27年3月下旬を目標に設置を進めています。足湯については、ボイラーを利用した加温等が必要なこともあること、不測の事態に対し、人の管理が必要であること等の条件を満たす弘法の里湯近辺への整備が効率的であると考えており平成27年度中の設置を目指しております。温泉スタンドについても、設備の管理体制や料金設定などいくつか課題があり、今後研究しながら課題を整理し、整備を検討していきたいと考えます。</p> <p>また、鶴巻温泉源泉活性化検討会の下部組織である観光資源活用部会において、平成26年度、ソフト面の整備について検討を行い、鶴巻地区の観光資源を結んだまち歩きコースの整備等を進めています。平成26年度には案内サイン類を整備するとともに温泉施設、あるいは地域資源、地元商店会の協力を得た利用特典等を掲載したマップを作成することとしており、26年度末の発行を目指しています。</p>	観光課
2	<p>鶴巻温泉駅南口広場と、その周辺整備について平成29年度中に整備が完成するのでしょうか。それに伴う県道の拡幅、歩道の整備や駅舎南北連絡橋、その周辺の整備はどのようになるのでしょうか。</p>	<p>現在、鶴巻温泉南口駅前広場とあわせた土地区画整理事業による広場周辺整備と県道立体横断施設や南口橋上改札を一体的に整備をする計画として平成29年度完成を目標とし、事業を進めています。</p> <p>今年度は駅前広場や立体横断施設の整備を開始するための前段階として、駅前広場整備に伴い車両通行止めとなる現在の南口改札前の市道の代替の機能となる道路や、駅前広場などの事業用地を確保するための宅地整備を実施しているところです。</p> <p>今後は、平成27年度から順次駅前広場、県道立体横断施設、南口橋上改札の整備を進めていき、平成29年度までに最終的に駅前広場整備を完成したいと考えます。</p> <p>また、本市の事業に合わせ、鶴巻温泉駅構内の跨線橋の架け替えや駅施設の整備を市と鉄道事業者と両方で進めることにしています。この鶴巻温泉駅の跨線橋は本市が整備する県道立体横断施設と南口の橋上改札によって接続することで調整していますが、跨線橋は駅施設となりますので、南北を自由に連絡する通路とはなりません。しかし、市としては橋上の駅舎と同等の機能を持った駅舎として進める方向で鉄道事業者と事業を進めています。</p>	まちづくり推進課

3	<p>県道612号は延命地蔵尊からおおね公園まで、県道613号はミアクチーナ前の箇所が歩道が未整備となっており、危険な状態です。県へ整備の働きかけを要望します。</p>	<p>県道612号は現在延命地蔵尊先から伊勢原15号踏切までの区間で歩道整備事業を進めており、現時点では事業用地の9割以上を取得しています。今後は引き続き歩道整備に併せて電線類の地中化工事も実施する予定です。</p> <p>延命地蔵尊先からおおね公園については、御指摘のとおり歩道は未整備であり、早期の事業化を県へ要望しています。</p> <p>サンライフ入口までの区間の歩道設置の件については、必要性は十分承知していません。しかし、現在、他の区間での事業を進めていること、また、この区間は道の両側に住宅が張り付いており相当の費用負担が見込まれるため、国の補助金等も必要とされることなどから、今後、他の工事の進捗等を考慮しながら、要望の機会を検討してまいりたいと考えます。</p>	<p>国県事業推進課</p>
---	--	--	----------------

<p>大雨時の浸水対策について、平成24年度の大根川のポンプ場完成により、被害が改善された箇所もありますが、駅周辺はまだ、被害が生じています。近く対策が計画されていると聞いていますが、その内容について説明をお願いします。</p>	<p>鶴巻地区の浸水箇所の土地利用状況や、排水施設の状況をコンピューター上に忠実に再現し、各種シミュレーションを重ね、浸水の原因の解明、対応策の解析をし、新たな浸水計画を策定しました。これは地域全体を整備するには多大な時間を要するため、短時間で整備箇所を厳選し、効果的な浸水対策を図るものです。</p> <p>まず、幹線整備として、鶴巻舞台幹線の流下能力が低い箇所(新川橋から下流約63m)の対策を行います。非常に軟弱地盤であり、鉄道線路にも近いため、大変繊細な工事となり、また、安全面も考慮し、昼夜全面通行止めで施工します。2か年に渡る大型事業ですので、工事内容や迂廻路の確保等など詳細については説明会などを通じてお知らせしてまいりますので、御協力をお願いします。</p> <p>また、同じくネック箇所になっている塩貝橋からひかりの街についても、ボックスカルバートが沈下し、断面が不足している状態を解消するため、まず平成27年度は施工の支障となる道路の埋設管等の対応を行い、28年度以降本体工事に着手予定です。</p> <p>新川に流れ込む周囲の枝の管については、平成26年度にひかりの街F号棟の南側の市道543号線の浸水対策に着手しました。平成26年度は身洗戸橋から南側120mまでの工事予定です。平成27年度は西側に向かい、T字路を南側に行く雨水管の整備、28年度には鶴巻中央通り商店街や芦谷通り商店街周辺の対策として県道曾屋鶴巻線の枝線の雨水整備を、29年度については弘法の里湯前の市道418号線の雨水の整備を予定しています。</p> <p>多額に費用を要す事業であり、国等からの補助金等、支援状況によっては事業が遅れる可能性もありますが、鶴巻地区の皆さんが苦勞されている状況を訴え、補助金、交付金の確保について努力してまいります。</p> <p>(当日の補足)</p> <p>幹線整備として平成26年度新川橋から63mの水路改修工事に着手しております。2月23日から平成28年3月下旬までの予定で全面通行止めをいたします。この道路を御利用の方々には大変御不便をおかけいたしますが、浸水対策事業の趣旨を御理解いただき御協力をお願いいたします。</p>	<p>下水道河川整備課</p>
--	---	-----------------

5	<p>廃止となった鶴巻排水機場を環境美化、観光資源として、地域住民の力で進めている大根川、善波川の遊歩道の観光拠点として利用できないでしょうか。観光資源の有効な活用として要望します。</p>	<p>鶴巻排水機場は平成26年度に放流口を撤去する予定で、関係機関との協議を進めてきました。河川管理者との協議は整いましたが、国の農政部局との協議の中、鶴巻排水機場は国の補助金を受けており、残存価値があるものは補助金返還の対象となる、ということで国との交渉が難航しておりました。</p> <p>ここで鶴巻排水機場の機能停止に伴う土地利用等についての協議が整いましたので、平成27年度当初予算での要求をしていくように考えています。</p> <p>(当日の補足)</p> <p>放流口撤去にかかる工事費につきましては厳しい財政状況の折、平成27年度予算への計上が見送られました。財政状況が許す可能な限り早い時期に放流口撤去等機能廃止に必要な工事を行い、地域住民の皆様の御希望に沿えるような跡地利用を検討してまいります。</p>	<p>森林づくり課</p>
6	<p>平成27年は善波川上流のアジサイ植樹から20年、下流は10年となっています。市制施行60周年にも当たりますので、市の協賛をお願いしたいと考えます。</p>	<p>地元の皆さんの力で、地域を育む事業として実施されており、土手沿いの小道は本市の名所の一つにも数えられます。60周年の企画事業としてどのような展開が図れるか、または別の視点からの支援が可能かどうか検討してまいります。</p>	<p>企画課</p>
7	<p>真田橋から大根川ポンプ場まで、地元のボランティア団体で、遊歩道として、散策できる環境づくりを進めています。ここにアジサイの植樹等を行い、今後は桜の植樹の計画もあります。引き続き市のバックアップをお願いします。</p>	<p>アジサイの遊歩道の整備については、まちづくり事業、特別事業交付金の対象事業として、平成26年度から認定しました。この事業には最長5か年の補助が可能ですので、引き続き支援をしてまいります。</p>	<p>市民自治振興課</p>
8	<p>サンライフ鶴巻は廃止と聞いていますが、どうなるのでしょうか。</p>	<p>公共施設再配置計画の中で、サンライフ鶴巻については近隣に鶴巻公民館やおおね公園など機能を補える施設があるため、廃止を考えています。</p> <p>しかし、建物は耐用年数がまだありますので、今後は社会福祉法人等民間の力を生かした地域の公益施設として転換できれば、と考えております。</p> <p>今後準備が整い次第、地域の皆さんにも御相談をさせていただきたいと考えています。</p>	<p>公共施設再配置推進課 スポーツ振興課</p>

9	<p>鶴巻公民館は雨漏りがあつたりと、今後老朽化が進んでいます。そのかわりに鶴巻温泉駅南口に連絡所を設ける際にはコミュニティセンターのような施設にすることを要望します。</p>	<p>現在駅前連絡所としては、秦野駅、渋沢駅、東海大学前駅に設置されており、4駅の公平性の観点から、鶴巻温泉駅南口周辺整備事業に合わせ、新たな連絡所の設置を予定しています。連絡所の開設に当たっては鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会と協議を図りながら進めてまいりたいと考えておりますが、コミュニティセンター機能の併設については、予定はございません。</p>	戸籍住民課
10	<p>極楽寺前の市道64号はカーブが多く、歩道が無い通学路となっており危険です。グリーンベルトの設置を要望します。</p>	<p>毎年、各学校で通学路が安全かどうかチェックを行い危険箇所の改善要望を提出していただいています。その要望により、秦野警察署、各学校PTA、学校教育課、くらし安全課、道路管理課、道路整備課等が合同点検を行い対応策について、検討を行います。御指摘の箇所は改善要望としてあがっていなかった箇所ですが、今後調査の上、関連部署と協議し、整備が可能で効果が期待できる場合は、対応をしてみたいと考えます。</p>	学校教育課 道路管理課
11	<p>市道64号線に並行して東海大学前駅に通じる都市計画道路の整備促進を要望します。</p>	<p>都市計画道路の整備には多額の費用と、多大な時間を要します。限られた財源で、都市計画道路を速やかに整備することは困難です。国等の交付金も受けにくくなっておりません。現在は、都市計画道路に限らない、代替となる現道があれば、こちらを中心に整備し、円滑な通行と歩行者の安全確保に向けた道路事業の推進を図りたいと考えます。</p>	道路整備課
12	<p>鶴巻保育園跡地の利用について、去年は方向性が未定とのことでしたが、現状は何か方向性は決まっていますか。市民の憩いの場としての活用等について要望することを提案します。</p>	<p>県の所管に確認をしましたが、現在も活用の具体策は無いとのことでした。現地は軟弱地盤であるなど土地に課題があり、売却も含め現在の方向性は未定とのこと。御提案の件について、市としての具体的な方向性はありませんが、今後、県の動きについては確認をしてみたいです。なお、防犯上、景観上につき周辺住民に御迷惑をお掛けしないように管理をしていくということです。</p>	企画課

13	<p>鶴巻地区では社協にとどまらず、まちづくり、自治会を含めた拠点として「ほっとワーク」を位置付け、さらにボランティアセンターを設けて支え合い、助け合いをモットーに地域ぐるみで日常生活に困窮している方などの支援を行っています。今後介護保険制度の改正等で、地域包括支援は不可避とされる中、他自治体では地域活動の拠点について積極的に支援を行っているところもありますが、市も柔軟に地域の事情に合わせた支援を要望します。</p>	<p>地域まちづくりの拠点については、平成25年度から26年度にかけて、順次市内8地区の連合会にヒアリングを実施し、御意見、御要望を伺っております。 鶴巻地区では地区社協の拠点として「ほっとワーク」の実践を既にされているということで、こちらを様々な活動の拠点として発展していきたいとの意向をいただいております。各地区で、希望する拠点の機能等様々に差異がありますので、画一的な形でなく、地域の事情に合った拠点の在り方について今後も進めてまいりたいと考えます。</p>	市民自治振興課
----	--	--	---------

当日の質疑応答について

	質問内容	当日の回答	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
14	<p>鶴巻小学校近隣の市道65号線、523号線、502号線が交わる交差点が、通学時のわずかな時間ではありますが、非常に混雑し危険だと感じています。 また、そこに引かれている横断歩道が使いづらい形状です。改善はできませんか。</p>	<p>御指摘の箇所は以前からお話があります。再度現状を確認し、啓発看板等につき検討したいと考えます。 また、横断歩道は警察が所管ですが、子どもたちが溜まる場所等も考慮する必要もあるかと考えます。</p>	<p>秦野警察署に相談したところ、交差点を斜めに横断することは安全性に問題があるため、現在の道路形状での横断歩道は現状どおりとなる、とのことです。</p>	くらし安全課
15	<p>都市計画道路(東北久保塩貝線)を整備しない限りは、交通の安全は図れないのではないのでしょうか。しっかりお金をかけて実現してもらいたいと考えます。</p>	<p>膨大な整備費がかかるため、市税だけの捻出は不可能です。通学路であれば、都市計画道路以外に国の交付金が付く場合もあるため、できる所から現実的な整備を進めていく状況です。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	道路整備課
16	<p>県道613号のサンライフ入口付近は歩道が無くて非常に危険です。人命がかかっている事ですので、しっかり歩道をつける予算を確保し、整備をするべきではないでしょうか。</p>	<p>県としても、財政が厳しい中、他に多くの事業を抱えております。整備する順位づけについては、沿線住民の合意形成等も、判断材料になろうかと考えます。今後、様々な課題を整理し、県へ要望していきたいと考えます。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	国県事業推進課

17	<p>足湯を鶴巻温泉駅北口広場に設置すると、鶴巻春まつり等の場所が確保できなくなります。弘法の里湯の横のスペースであれば、ボイラー室も近く効率的ではないかと感じます。</p>	<p>市としても駅前広場の利用を損ねないように考えています。設置場所については御提案の場所も含め、利用者の動線を考慮し、手湯、足湯設備が干渉し合わないようにレイアウトを検討してまいります。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>観光課</p>
18	<p>鶴巻温泉の源泉の利活用について、検討ばかりで、先に進んでいる実感がありません。とにかく何かしら形に見える形で実行をしてもらいたいと思います。</p>	<p>(要望)</p>	<p>源泉「つるまき千の湯」の利活用策として平成27年3月下旬を目途に、鶴巻温泉駅北口広場に手湯の設置を進めています。また、足湯については、平成27年度中の設置を目指しています。</p>	<p>観光課</p>
19	<p>鶴巻温泉駅周辺の整備の際に、鶴巻南4-5の市有地を売却されたようですが、これはいくらで取得し、いくらで売却されたのでしょうか。また、県道の整備費について、市の財政的な負担はあるのでしょうか。</p>	<p>市有地は公社の駐車場として利用していたものですが、平成4年ごろ、公社が当時約8億ほどで購入し、平成25年に約1億4千万円で農協に売却したものです。しかし、ただ売却ということではなく、農協は駅前広場や県道の事業用地を所有していたことや、これまで農協があった跡地を、今回の事業で移転することになった地権者の代替地とするなど、総合的に判断して譲ったものです。</p>	<p>県道の整備費については特段市の財政的な負担はありません。</p>	<p>まちづくり推進課 国県事業推進課</p>
20	<p>鶴巻中学校から、東名高速道路側道までの区間にあるクランク状の道路が危険だと感じます。何か対策は無いでしょうか。</p>	<p>クランク状の形態のため、かえって通行車両が減速するという現状はありますが、通学児童が多いため、安全確保のために歩道の設置は必要だと考えます。車もある程度スムーズに通行可能で、かつ歩行者の安全も図れるような線形について、今後対応を検討してまいります。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>道路整備課</p>

21	東名高速道路の側道(市道26号線)で現在歩道設置の工事をしている箇所がありますが、急坂で、しかも歩道設置によりカーブになるため、危険だと思います。何か対策はあるのでしょうか。	警察からもあらゆる安全対策を講ずるよう指摘を受けていますので、路面上の表記や標識等、安全対策を講じていく考えです。	現在、第1工区は完成し、必要な安全対策を実施しました。第2工区については、施工中であり、今後十分な安全対策を講じていきたいと考えております。	道路整備課
22	公共施設の利用料値上げのインフォメーションが十分ではないと考えます。	利用者負担の適正化に関する方針として、全市民対象のパブリック・コメントを実施し、最も広く一般的な周知を図る手段である、「広報はだの」や「市ホームページ」でもお知らせいたしました。方針の内容としては、公共施設を利用する方、しない方のバランスを考慮し、公共施設の維持費負担割合をもう一度見直すこととしています。公共施設の維持に必要となる費用はどの程度利用者が負担するか、どの程度税金で賄うのが妥当であるのか、ぜひ御一考していただければと考えます。	現在、公共施設再配置推進課のホームページで各公共施設にかかるコストと、現在の使用料を公開していますので、参考にして下さい。	公共施設再配置推進課
23	市の補正予算とは、どのようなものなのでしょうか。	毎年3月議会で、翌年度4月から始まる当初予算を議決いただきますが、その後、当初予算成立後に急を要する、または非常に公共性の高い事業、公共の福祉を向上するための事業などが突発的に発生することがあります。こういった事業を実行するために、別途予算を組ませていただき、議会の議決を経て成立するのが補正予算です。	当日の回答に同じ。	財政課
24	学力向上や、中1ギャップ対策として、小中一貫教育学校を導入している自治体がありますが、秦野市はどのように考えていますか。	(意見)	本市でも、平成23年度から幼少中一貫教育の推進に全園校で取り組み始めております。25～26年度と、市民にも取り組みの成果等についてお伝えする機会を設けておりますが、引き続き取り組んでまいります。	教育研究所

25	道徳の教科化については、どのように考えますか。	(意見)	教科、教科内容等については、学校教育法施行規則及び学習指導要領で定められています。道徳教育の目標に基づき、学校教育活動全体を通じて道徳性を養ってまいりたいと考えます。	学校教育課
26	平成27年4月から教育委員会制度が変わると聞きましたが、どのように変わるのでしょうか。	(意見)	<p>教育委員会制度の主な変更点として、現行の教育委員会の代表者である委員長と教育委員会事務局の責任者である教育長を一本化した新たな責任者(新教育長)を置くこととしました。</p> <p>また、地方公共団体の長(市長)と教育委員会(教育長及び教育委員)により構成する総合教育会議を設置し、教育に関する大綱を定めるとともに、教育施策に関する協議等を行うこととなりました。</p> <p>なお、法律の施行日は平成27年4月からですが、経過措置として、現在の教育長が在職している間は、従来どおりの取り扱いとなります。</p>	教育総務課
27	小学校の英語教育については、将来的には3年生くらいから実施してもいいということになるようですが、秦野市はどう考えていますか。	(意見)	上智大学の学生(イングリッシュフレンド)などの協力をいただき、小学校低学年から英語に触れる機会を設けている学校もあります。	教育指導課

28	教育関連のさまざまな情報について静岡県の袋井市教育委員会は情報紙を発行していますが、秦野市でも教育関係の情報をもっと市民に知らせてもらいたいと考えます。	(要望)	秦野市教育委員会では、教育に関する情報として「秦野の教育」「教育委員会の点検・評価」を毎年作成し、公民館等の公共施設や市ホームページで閲覧できるようになっておりますので、御覧ください。	教育総務課
29	昔活発だったあいさつ声かけ運動が少なくなったように感じます。また、機会を捉えて盛り上げてもらいたいと考えます。	(要望)	現在も各中学校・小学校で児童生徒が主体的にあいさつ運動に取り組んでいます。あいさつを通して人と人が心を通わせ合うことができるように、これからも継続して取り組んでまいります。	教育指導課
30	弘法の里湯の市外利用者の利用料値上げは今後予定にありますか。	弘法の里湯の目的は観光振興や「地域経済の振興とともに福祉の増進もあります。また、地理的には伊勢原市にも近接しているため、市内外や近隣住民の皆様に健康増進のために大勢来ていただき明日への活力にしていきたいと考えております。入館入浴者数も堅調に推移しており、黒字経営を維持できていることから、入浴料の値上げではなく、より多くの方が利用しやすいようなサービスの向上を図り、皆様方に愛される施設にしたいと考えております。	当日の回答に同じ。	観光課